

# 5.23反核40万人結集 の高揚ひきつぎ

# 5.24三里塚へ連続決起



核爆の甲斐なく、決意表明に立つ。(左から)宮内君、大角君、南川委員長、吉野君、滝口君。(5月24日、三里塚中央公園)

空港反対同盟を代表して、北原事務局長が緊迫する現地情勢の特別報告に立ち、続

## 反戦・反核巨万の決起の 中軸を担った三里塚

いて秋葉哲さん、長谷川タケさん、三浦五郎さん、小川喜平さん、小川耕平さん、市東東市さん、加藤清さん、島村良助さん、小川むつさん、宮本衛さん、笹川英祐さん、萩原進さん、石井武さんがつぎつぎと登壇して二期決戦勝利、同盟の基本路線貫徹の決意を明らかにした。

政府・公団による二期着工攻撃に反対同盟破壊策動に条件派づくりの陰謀が再び激化している現地の緊迫した情勢に真正面から闘いを挑む五・二四現地集会は、正午すぎより、三里塚第二公園で開始された。集会では、毎日の生活をかけて基地と闘い続けている沖繩行動団の仲間をはじめ、川、北富士の仲間、それに反戦自衛官代表、川田泰代氏、国枝夏夫氏、全金本山、新谷のり子さん、部落解放同盟江戸川支部、伊方原発反対同盟、全国被爆者青年同盟等から、五・二三の圧倒的勝利の確認と共に、三里塚と反戦・反核がしっかりと結合されて闘われることの重要性が各々提起された。

五・二三反核四〇万人結集の圧倒的高揚をひきつぎ、東京実行委員会を先頭とする三里塚を闘う勢力は、間髪をいれず五・二四、三里塚現地闘争へと連続決起し、「反戦・反核の皆、三里塚で勝利しよう！二期着工実力阻止！」の力強い闘闘宣言を、政府・空港公団に叩きつけた。  
五・二三と固く結合して闘われたこの日の現地闘争には、前日に引きつぎ敷地内を先頭とする多数の反対同盟員もかけつけた。動労千葉は、青年部を中心とし全支部からの代表を含めた一〇五名の結集をもって最後まで闘いぬいた。

## 激化する反対同盟破壊攻撃 二期着工策動許さず、 6・7月総決起を宣言

**6.5労働者集会**  
第二臨調基本答申粉碎！  
国鉄労働運動解体攻撃粉碎！  
動労千葉の  
不当弾圧許さず、三里塚二期着工阻止！  
中野洋一  
千葉市民会館  
6月5日(土)17:30  
動労千葉

かたし、七・五現地集會への全国総結集を訴えた。主催者を代表して東京実行委・浅田代表が、①五・二三の中軸をティーン広場三里塚勢力が担ったことは重要。②三・二四連続決起が勝利の核心点である。③政府・公団の同盟破壊策動は再び激化しており、成田用水や騒音対策費や代替地といったアメを見せての切り崩しに条件派づくりの策動を粉砕しよう。④動労千葉や解放同盟荒本支部・意岐部東小はじめ三里塚を闘う勢力への破壊攻撃が激化しており、これを守り闘おう。⑤二期阻止を基軸に、六・五労働者集會一六・六関西新空港阻止集會一六・一五、三里塚勝利・安保粉碎中央集會一七・四三里塚全国総決起集會を全力で闘おう、との基調を提起し、全体で確認した。  
続いて、弾圧と真向から闘っている動労千葉と荒本支部・意岐部東小の仲間が登壇し、特別報告と決意表明を行なった。参加団体の決意表明ののち、全員で断固たる闘闘的デモを展開した。  
五・二三一・二四の勝利をひきつぎ、三里塚を基軸に、六・七月総決起で闘いぬこう。



日刊  
**動労千葉**  
82.5.27  
No. 1054  
国鉄千葉動力車労働組合  
千葉市要町二一八(動力車会館)  
(鉄電)二九三五〇六(公衆)〇五七(宅)七二〇七